

弥生 愛南文芸

みなみうわ俳句会

初雪の白きに心新たなり
七種やふるさとを恋う友の文
注連飾形様年を待つ
ゆつくりとちぎれ雲ゆく七日かな
七草も買い多き世の移り
小包に田舎みそ入れ初しぐれ
溝掃除見つけし碧き竜の玉
蕪さげて買い手売り手のかぶ談議

御荘俳句会

溪に沿ふ峽の家々梅日和
春光や心の襞のゆるみをり
春日傘手波に鯉の集まれり
ねんごろにねんごろに寄せ春の潮
くれなるの恥ぢらふやうに寒椿
氣に入りの博多帯しめ寒ざらひ
檳榔子
飛び交いし田舎訛の初句会
三才の孫は絵で取る初歌留多

宮下 峰月

小島 泰子

竹村 勝利

木村 智子

田口 ひさ子

濱 初榮

若林 八重子

中川 千代子

尾崎 松恵

加洲 勢津子

山本 金子

山口 和子

吉田 朝子

寒潮へ乗り出す舳先揺るぎなく
夢と云う色は何色老の春

買初の消しごむ消せぬ人の過去
小春日や訪ひ来し嬰を手から手へ

あさぎまだらの力強さを欲ししけり
賑やかに幼を囲み初笑い

朝厨切っ先に似し寒の水
駄々こねる子にも一理や寒雀

西海俳句会

今年も元気に数珠繰る輪の中に
ひと秋を病みて京都の娘の家に

時雨の中男は渡船とどろかせ
何処までも段畑の跡冬木立

新くさの葉短歌会(はこべ)

心して日々を過ぎむ羊年の亡き夫
帰り来し思ひを持ちて

ストローの歯にふれて鳴る音かな
し曾孫上手にヨーグルト呑む

娘の帰る三日は晴れて暖かし庭先
に出て手を振り送る

ひよろどいつつ誕生餅をかるう孫
のシャッターチャンスを笑顔で待つ夫

一つの席に夫の遺影の飾られてわが
孫優の披露宴始まる

若山 節子

三好 ミキエ

濱野 康子

吉田 モミエ

若林 八重子

山口 薫

小島 泰子

井上 輪天

利根 早智江

吉田 笑代

吉田 朝子

吉田 弘定

市川 コマエ

斉藤 トミ子

長田 ハル子

西崎 文恵

前田 充

はじめまして。赤ちゃん。

1月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

1月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

御荘平城 埜下 喜代美 55歳

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。

